

今年度の校内研究のまとめとして…

中学部、高等部ともに、「目標に着目した授業改善は、生徒へ育成したい資質・能力を身に付けさせることに繋がっていた」とまとめられたことから、仮説は検証された。

手順としてまとめると、

- ① 教育支援計画にも記載される「将来の姿」と「そこを目指すために必要な力」を共有する。(本人・保護者の将来の希望、長期・短期の目標)
- ② ①で共有した必要な力を各授業でどのように育成していくのか、年間指導計画を作成した後、共有する。(年計Ⅰ)
- ③ 単元計画と毎日の授業において、目標が妥当か、ズレていないか確認する。(授業記録シート)
- ④ 妥当か検討した目標を達成するための手立てを工夫する。その際、「主・対・深」の視点を意識する。

この手順を踏めば、児童生徒へ育成したい資質・能力を身に付けることに繋がっていく。(必要に応じて③と④の中で、単元計画を見直す)